



欧米の億トレーダーたちの常識である資金管理を学ぶ！



さて、それで今日はこのレポートで以前からメルマガで書いてる
資金管理、について書きたいと思います。

それで、資金管理ってのは強烈な自立心の上に成り立つので、
自立心の部分、これちょっとメルマガでも最近良く書きますが
この時代においてすごい大事だと思ったのでそれも考えていく必要がありますね。

ちなみにこれからの時代、まず年金は破綻しますでしょ、
あと日本でいずれ預金封鎖も起こるでしょう。
税金も上がる。

そこでもう「誰にも頼れない時代」ってのが来るんです。

そこで生き残っていくのがずばり

自分で自立して考えていくそういう自立心の高い新個人だ。

それが今育つのが急務だと私は思ってるわけです。

なんでネズミとかネットワークのビジネスのなんちゃらかんちゃらとか
それに混じった飛ぶ前提の投資商品(ポンジスキームっていう)
とかにはまる人が多いかといったら
依存心高いから。

んで、私はどっちが上か？といったらやはりこの詐欺師たちは
自立心が高いし、依存心高い人をだます方法にも長けている。

そういう意味では悪い人たちだけど依存心はないんですよ。
彼らのほうが、これまた現実として強いというのがあります。

だから依存心があるということは「弱いということだ」。

これは副島先生も書かれていた。要するに弱いということだ、依存心が高い
というのは。

だから強くなる必要があります。

それで・・・経済の世界で強くなるための前提知識として

絶対的に必要な知識として、

~~~~~  
「資金管理」がありますね。  
~~~~~

この「資金管理」を多くの日本人は知らないように、無知にさせられています。

馬鹿にするわけじゃなくて、これは日本の教育や政策的に

国民をだませなくなるから無知にさせている。

ただそれを知らないと「判断」さえできないんですよ。

んで、資金管理については私は根崎さんという億トレーダーに

学んだんだけど、

今日はせっかくなので「FXでも株でも先物」でも応用可能な

資金管理について書きます。

これは基礎ではあるのだけど、まだまだ実は深いんですけど

今日はさわりの部分だけ、このレポートで書きたいなって。

これもだから「妄信せずに」自分で考えるきっかけにしてほしいな！

と思います。

ちなみにですけど資金管理もこれが絶対ではなく、

あくまで1意見である、ということなので

ぜひ色々な資金管理術の意見をあなたで比較してみて

自分なりに安定した資金管理を構築してみてください。

んで、資金管理なんですけど FX とかでよく

多くの教材で

「損きりは10%で」とか「損きりは〇〇PIPS で」とか

あるじゃないですか??

これ、実はアメリカの CFG 投資スクールとかで

講師150人億トレーダーみたいな学校で教えられている資金管理を

知ってる人からしたら

正直「え?大丈夫か?」という話になります。

もっとぶっちゃけて書くと、欧米人の投資家に馬鹿にされる考え方

であると思います。

要するにプロの資金管理というのが存在するんですね。

~~~~~  
今日はそれを書きたい。

んで、資金管理として、たとえば FX でも株でもいいけど

何かポジションを取ります。

そこで「まずポジション前に最初にやらないといけないことは？」

となったら何を考えますか？

「いくら儲かるかな〜うへへへへ」

と〇〇の投資商品があがります、と

だまされて全力買いしている人たちのように

妄想することでしょうか？

(彼らの場合は洗脳されて「妄想させられて」いるんだけど)

そうです、答えはメルマガ読んでるあなたなら

分かりますね。

それは「最初に想定損失額を決定すること」であります

---

それでたとえば日足で買いとか売りとかやるわけだけど

そこでの「想定損失額」をどう決定しますか？

たとえば教材によっては「損きりは20 PIPS」とかですね、

損きりは1万円まで、とか定めているものがあります。

が、これは正直「いけてない」わけです。

要するに重要なのがたとえば100万円あったとして  
そこでの損失割合というのを%(パーセント)で微分して  
考えることでして、

そこでの適正数字って何%でしょう??

そうです、これは以前書いたことがあるけど

「2%」という数字が私は良いと思います。

ちなみにこの数字は議論を呼ぶところで色々な意見があるけど  
私は色々な強いトレーダーたちの言論とかも色々分析した上で  
やはり2%だと。これが適正だと考えています。

この2%に投資心理学の重要なエッセンスも入ってまして

実はよくメルマガで扱う

「人間の脳みそは「痛みを避けて、快樂を得たがる」という部分、

プロスペクト理論というけど、

これに支配されないための数字がやはり多くの人にとって

2%あたりだろうと思います。

相当スキルある人は4%とか5%にする場合もあるけど

それはまさにその人がすさまじいレベルだから、だと思います。

ちなみに私の知ってる事例としてすごい強いトレーダーがいて  
彼は2%でやってて月収300万円くらいは普通に稼いでいたけど  
そこで調子乗ってある日3%、4%とあげていったら4%だと  
このスーパートレーダーも口座飛ばしたんですよ。

どうもこういう事例を見ると、やはり2%なんだろうと思ったりします。

だから

通常は1%から2%になります。

それで最初に損失を決定するわけです。100万円なら

じゃあ最初2万円までの損失まで、と決める。

それで2万円の損失を前提として、そこでいくらのリターンを

見込むか？という話で

ここで2万円の損失設定に対して5万円なら

2.5倍ですけども

こうやって「最初に損失を設定する」というのが大事ですよ？

それで2万円の損失設定の中でたとえばうまくなると

そこで10万円とか時には20万円とか儲かったりするわけです。

ちなみにこの2万円の損失に対して

利益がたとえば6万円出たとしたら

リスクリワードは2:6だから、1:3ですね。

だからまず最初に損失を設定する。

その上で利益を得ていく、この考え方が大事でして

そして損失額は「2%」というのがやはり

よく使われる数字です。

相当実力ある人は4%とかですね。

それで重要な考え方があって、

「損失だけはコントロールできる、決められる」わけでした

2%ってのは決められるんだけど

実は利益に関しては決められないという考え方があるんですね。

これは相場は生き物なんで、

となるとダウ理論とか、プライスアクションとかもしくは

各種インジケーターなんかの分析を通じて

利益なんかはトレールによって相場で決めていく

という方向が私は正しいように2017年時点で考えております。



それで「最初に損失額を設定する」わけですけど

たとえば2%なら、私の場合は1%~2%の間を変動させますけど

まあ2%だとしたら、

100万円なら2万円ですよ？

さて、それで・・・クイズなんだけど、

例えば相場において「ピンバー」が出ていたとします。

ピンバーってのはググってほしいけどよく使われる基本的なプライスアクションで

あの髭が長くて実体が短いらうそく足ですね。

それで例えば下髭が長いピンバーが出ていたとして

そのピンバーは移動平均線なり水平線でサポートされてる、とします。

たとえばこのピンバーの買いとして、

上値でエントリーでピンバーの水平線とか移動平均線の

ちよい下で損きりするというルールを設定したとして、

そこまでのエントリー値から損きりまでの距離の

PIPS 数が4時間足で50 PIPS だとします。

それでドル円が100円だとして

運用金が100万円。そこで「ポジションサイズ」は  
2%の損失におさえるなら、何万通貨でしょう??」

というクイズなんです

さあ何万通貨でしょう?

勉強してる人なら答えられますよね。

これ答えられないならまずいです。

そう、4万通貨ですよ?

4万通貨で50 PIPS マイナスなら2万円くらいマイナスだから  
ちょうど2%マイナスです。

そう、だから重要なことなんだけど

「最初に損失額を決める」

わけだけど、そしてその損失額に合うように

「ポジションサイズを毎回変えていく」ってのが大事なんですね。

これを実は

「ポジションサイジング」って言います。

これを繰り返していくのが大事なんだけど

実はこれ私ゆうが根崎さんに学んでずーっとやってることで

やはりこのポジションサイジング思想ってのは大事です。

んでさらに発展しまして、「損失は2%で設定」

と書きましたけど

たとえばあまりないと思いますが仮にの話で

「5連敗したとします」。

んで「5連敗したら10%マイナスでしょうか？」

という話なんだけど

「え？2%×5なんだから10%マイナスでしょ？」

と思うんだけど違うんですね。

実はこれ重要な資金管理のまた考え方なんだけど

たとえば1回負けたとしたらですね、

資金は98%になります。

だから上の100万円の場合なら98万円ですよ。

んで、そこでじゃあ次の損失額は？というと

これ2万円じゃないんですよ。

98万円の2%だから、

$98 \times 0.02$ で損失額は1万9600円、と設定するわけです。

んで、また次負けたら

資金は98万ー1万9600円だから、

残りは96万400円。

それでまた2%設定だから

$960,400 \times 0.02 = 19208$ 円

まで損失をとれる、ということになります。

こうやって、資金管理でポジションのリスクを考えるんですね。

だから最初にストップを設定するんだけど

その上で、リターンを求めていくわけでした

だから「リスクリワード」って言うんです。

「リスク」が最初にあるわけで、リワード=利益はその後です。

それで・・・気づいたと思いますけどこの資金管理だと

破綻は起こらないんです。

たとえば単利で2%だと

50連敗したら全部100%分資金なくなりますよね？

けどこの負けたときも勝った時もそこに2%をかけていく

という資金管理ですとですね、

50連敗してもなんと、資金は「36.4%」は残るんです。

まあこのPDFを見てくれる長文読める日本語読解力がある

あなたなら色々な情報を精査比較する能力があるということだから

50連敗はあまりしないと思うけど、それでも資金は

だから100万円でやっても全部溶けないんですね。

36万円くらいは残る。

この資金管理だとなんか証券会社でやたらスキャルで邪魔されて  
ずるされたときとかそういう時以外は

実は一生破綻はしません。

そういう「破綻しない資金管理方法」ってのがあ  
るんです。

---

さて、それでですね、

ここですね、

上にちょっと書いたピンバーのやり方ってのが

あなたが検証する通貨において

勝率7割、リスクリワードとして 損失1に対して

利益が2平均で取れるとします。

それで取るリスクは2%とする。

そうすると100回トレードしたら資金は何倍になるでしょう??

実はこういうことを考えるわけです。数字で。

実は私ゆうはよく「検証しましょうね」とか書くけど

こうやって数字も出して、それである程度の期待値を出すってことを

電卓叩いてやってるわけです。スマホの電卓ですね。

それで

「  
勝率7割、リスクリワードとして 損失1に対して

利益が2平均で取れるとします。

それで取るリスクは2%とした場合、

100回トレードしたら資金は何倍になるでしょう??」

それでこれを割り出す計算式というのがあって

それが

100万円×

(0.98の30乗)×(1.04の70乗)

=100×0.54×15.57

=840万7800円くらい(端数省略)

です。

こういう感じでトレードを組み立てていくわけだけど

上の計算式分かりますかね？

要するに 負けの場合は2%の損失設定なんだから

資金が98%になりますよね。それが上の0.98という数字。

それで勝ちの場合は平均リワードが損失の2倍とするので

これ、1.04%に増えるので1.04倍ですが、

それが上の1.04という数字。

それで 資金に対してこれらの乗数が何回もトレードで掛け算で

かかってくるのですから

上のような計算式になるわけです。

だから一応検証してですね、上のように大体勝率7割

リスクリワード平均1:2、と割り出せて

それで実際のトレードではその検証結果と差異が出ないかを

見ていくのだけど、

(注:実際のトレードでは儲かるかではなくて

検証のデータと実際のトレードの差異がないかをチェックするわけです)



大体その検証結果に近い数字だと

大体ルール通りに100回トレードすると上の資金管理で  
期待利益は100万円だと840万7800円前後だな〜と  
分かってくるわけです。

ただ実際はそこまでうまく事は運びませんから、途中途中で  
修正をしていく必要がありますが、大体こういうのに近似した結果に  
近づいてくるってことですね。

こういう資金管理初めて聞いた人も多いかもだけど

実はこれが「基礎中の基礎中の基礎」です。

だからまあ基礎というか原理原則は大事なんだけど、  
これ知ってるだけでたぶんだけど  
トレード変わると思われます。

さて、こうやってプロってのは資金管理してるんか〜  
と分かると思うんだけど

だから世の中にある「これに投資したら儲かりますよ」

みたいなやつとかってまったくこの

資金管理の考え方ない投資家が「投資と思い込んで」投資してると

気づきますかね？

たとえば、100万円しか資産ない人が

そのリスクが見えない投資商品に

80万円突っ込んでたりするわけです。

これもしその投資商品が飛んだ場合、それこそ資金が戻ってきません

会社が飛びました、となったら

損失額は80万円なんだけど

これもし資産が4000万円ある人が80万円なら

分かるんだよね。

それなら2%吹っ飛んだだけですから。アー残念、で終わる。

けど世の中の人って100万円しか資産ない人が

80万円突っ込んでたりするわけで

それ「リスクとして80%とってる」わけだ。

これをですね、「ギャンブル」といいます。

投資ではなくギャンブル。

そしてこういう投資(ギャンブル)をしてる人は

「気分がハイ」になります。だからやたらそういう案件やってる人は

「興奮」してますよね。怖いくらいに・・・

ただこういう販売してる人ってそもそも投資自体分かってない人が

多いみたいで「全財産をかけてください」とか

「借金して買ってください」とかやるらしい・・・

もう投資家としては終わってるとも見えますよね、その

資金管理時点で。

実際に投資で生活している人たちってのはこういう

上記に書いたポジションサイジングとか、あとはリスクの

パーセンテージ設定とか

あとは検証しての勝率、およびリスクに対するリターン、

これらを綿密検証して、そして

そのとおりにフォワードでちゃんと検証と大きくずれないように

結果が収束するか確認して

それでようやく資金を投下するという「投資」をするんだけど  
世間ではこういうことがまったく知られていないから

日本人はギャンブル投資するってのは海外では有名なんです。

「慎重なはずの日本人」がこれ投資になると

~~~~~  
「世界一大胆になっちゃう」んです。
~~~~~

だから世界でも「日本人はかまれる」と有名。

それで重要なのが最初に損失設定するということと

あとはそれにあわせてたとえば2%ならば

それにあわせて ポジションサイズも変えていくってことですね！

これは株ならば銘柄数を変えていくということになります。

要するにストップまでの「距離」って

10 PIPS のときもあれば50 PIPS のときもある。

10 PIPS のときだったら利益40 PIPS とれば4倍だから

2%で設定してるなら8%利益出るから御の字です。

逆に50 PIPS の設定のときに利益が25 PIPS でも  
損失1に対して0.5しか利益出てないからだめなんですよ。

それでそれぞれ損失までの距離が10 PIPS であろうとも  
50 PIPS であろうとも

それにあわせてポジションのサイズを変更して  
損失になったときに2%になるように調整するわけです。

これは「相場は生きてる」っていうところから  
そういう考え方になるわけです。

ストップまでの値は常に生きてる限り、変わっていく。

それでこれを「毎回繰り返す」わけで

実は「乗数計算」が当たり前になるわけですね。

これは以前に書いたけど金持ちは乗数で計算する。

貧乏な人は足し算引き算だけ使います。

2%で5回負けたら資金は何%になる？

という質問があったら

稼いだことない人は

投資知識ない人は

「えっと  $2+2+2+2+2$  で10%マイナスだから  
90%」と答えるわけです。

が、投資知識を持っていて乗数計算できる人は

「えっと負けたとしたら98%すなわち0.98の5乗に  
資金がなっちゃうから、

えっと、0.98の5乗で・・・

$0.98 \times 0.98 \times 0.98 \times 0.98 \times 0.98$

=

(電卓ぽちぽち)

資金は 90.4%ほどになります！」

と答えるわけです。

前者は計算式として足し算引き算を使ってるけど

~~~~~  
後者は乗数計算を使ってる、ってのに気づきますか？
~~~~~

こうやって、投資の枚数とか株なら買い付け株数を  
決めていくんですね。

だから分かると思うけど FX の案件とか株の案件とか  
あとは投資系の案件ってあるじゃないですか？

そこで「その講師さんの洞察力とかスキル」を見る方法があって  
これがたとえば「資金管理としてどのようなことを言ってるか？」  
という部分で見極めできるんです。

たとえばその先生が

「そうですね、100万円運用なら損失は5万円までにしましょう」

とか言ったら

結構「あれ？大丈夫かな？」と分かってくる。

もうパーセンテージという微分も使っていないし

さらに5万円だったら20連敗したら資金飛びますよね。

いや5連敗しただけでも資金が75%の75万円になっちゃうんだから

結構心理プレッシャーがかかります。

ここで冷酷に人間の脳みそはプロスペクト理論通りに

引き込まれていってしまう。

実は上の「2%」という数字が投資心理学とか多くの  
トレードの心理状態からはじき出された数値なんだけど  
この重要性をみんな知りません。

そこでそのトレーダーはルールを必ず破りますから  
「大逆転しようとして」ロット数をあげて破綻するんです。

これももう公式的に決まっていて、大体の人はこの構図に引き込まれる。

だからもう資金管理の考え方時点で

上の

「そうですね、100万円運用なら損失は5万円までにしましょう」

は負けてるってことですね・・・

資金管理の数値には実は投資心理学とかそういうのも

すべて含まれていたりするので、

それが考慮されていない、ってのは結構やばいんです。

ましては「この通貨は絶対あがります！だから全財産突っ込んでください！

借金してでもやってください」



なんて言ってるのはもう投資心理学も無視しているし

さらに資金管理の考え方も吹っ飛んでますから

「これまずいやつやん」って分かるわけです。

資金管理の知識がなく、

分からない人がだまされます。

まず投資には「絶対」がないんですよ。

「こうなる確率は高い」くらいは分かる。

けど「絶対」とかはなくてあくまで不確実性の中で勝負していくわけで

「そうなる確率が非常に高いと私は思います」くらいしか

いえないんです。

世の中には絶対は存在しない

~~~~~  
ということです。

だから絶対あがります、誰でも儲かります、とか

まあないんです。夢壊して申し訳ないですが

私は色々な案件知ってるけど、ないです。存在しないです。

ほんとです、それが資本主義というもの。

それで最初の話になるんだけど

その市場不確実性の中で

~~~~~  
「個人個人が自分の知見や知識を使ってどう判断を下していくのか」

~~~~~  
が大事なんです。
~~~~~

それでその「判断を下す」ために、たとえば

上のような資金管理の乗数で考える考え方を知っていれば

色々「あ、これまずいな」とか「これはなかなかいいかもね」

とか分かるわけです。

それで可能性の高いものにベットし続けると、

これはサイコロの目が12回転がしても1の出る目は

6分の1にならないけど

1200回転がしたら6分の1に収束します。

そうやってちゃんとした判断基準をもってベットし続けると

これ不思議なことにお金が増えていくんです。

これが「確率に振り回されず確率をより高みにたって

コントロールすること」ですね！

それをこう学んでほしいわけです。

だから「確率をコントロールしてそれを資金という数字に適用していく」

のがずばり投資家、投機家だからですね、

この考え方が絶対的に重要なんです。

それができる人だけが資産を作れる、ということですね。



そうなる和最悪な状態だと5万円の損が出ることになる。

損失5%。

だから5%なら10万円の買い付けということになりますね。

それで10万円の買い付けでこれがまあやはり20万円30万円で売れることがちゃんと戦略持てば多いと思います。

となるとあとはこれ、繰り返していくだけで

リスクおさえて破綻せずに、損失コントロールしながら利益増やせていけますよね。

これで簡単にやはりお金は増えてくるものです。ビジネスの場合。

これはアフィリエイトとかの広告でも一緒ですよ。

100万円の資産があって広告出したいですと。

それで5%あたりまでリスクとって5万円で広告出して

まったく効果でなかったとしたら5%で5万円の損だけど

が、そこで広告なら最近はずがに2倍3倍は出せるでしょう。

だから5万円出してそれが10万、15万円になったりするわけで

その繰り返しという意味ではこれ、アフィリエイトなんか投資ですね。

だからビジネスも基本的にはこのリスクを何%にとって  
利益を何%計上できるか、という考え方でいえば  
投資なんです。

実はこれは株とか先物とかあとは金投資とか、すべての金融商品でも  
通じる考え方なんです

この資金管理の考え方を理解して使いこなせるようになれば  
まあお金増えないってことはないように私は思うのですね。

それが実は資金管理という考え方です！

それでこの資金管理なんかを理解してる人は  
結果出している人が多い傾向が非常に強い  
ということです。

そしてこれを知ってればいろいろな案件があつて

「見極めるための判断基準」も持てますから、

そういう点でも意味があると思います。

そして

「確率を支配下に置く」というのがずばり稼ぐための  
最重要な点でして、

その「確率を支配下におくための考え方」ってのが

~~~~~  
世の中にはあるんですね。
~~~~~

それは学校でも会社でもテレビでも当然教えられません。

~~~~~  
が、アメリカの投資スクールとか、そういうところでは

~~~~~  
どうも教えられているわけです。  
~~~~~

だから彼らアメリカ人とかの一部金融街の人たちは

確率コントロールして莫大な利益あげてるわけで

一方確率コントロールするすべを持たない日本人は

「刈り取られまくり」なわけですが

それ、知識の差です。

世の中の冷酷な構造として知らないと、無知だと搾取されて

貧乏になるようになっていきますので

やはり一流知識を学ぶというのが大事ですね。

今回の資金管理の話、これ知ってればまあ投資で大損とかは

防げる話で、リスクを限定できる話なんだけど

その上で、大きくリターンを求められるようになりますので
すごい重要な考えです。

基本的にはこの資金管理を基礎として

投資活動を10年、20年と行っていくと資産は
大きくなっていくので、そして必然的に大きくなっていくので

確率をコントロールする、という視点を持つといいと思います。

では！

ゆう

PS・・・「確率さえもコントロールする」のだから

だからこそ、依存心とか究極的に邪魔なんですね。

「確率さえ自分でコントロールしていく」わけだから

自立心マックスでないといけないとなるわけで

だから最初の自立心が大事という話になるんです。

全部つながってるということでもあります。